



Fujinokuni

Virtual Medical College

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ

77大学1,717人が利用する
国内最大級の医学生向け奨学金

静岡県医学修学研修資金制度

「尊敬できる先輩や朋友との出会いを大切に」

浜松医科大学

医学部眼科学講座 准教授

医学部附属病院眼科 副科長

佐藤 美保 先生





ようこそ、 ふじのくにバーチャル メディカルカレッジへ

CONTENTS

- 02 | メッセージ
- 03 | 「尊敬できる先輩や朋友との出会いを大切に」
浜松医科大学
医学部眼科学講座 准教授
医学部附属病院眼科 副科長
佐藤 美保 先生
- 05 | 先輩医師の声
岸本 果奈美 先生
- 06 | ふじのくに次世代医師リクルーター
- 07 | 医学修学研修資金利用者の声
近藤 結さん 渡邊 敬太さん
- 08 | 全国の奨学金利用者からの声
- 09 | ふじのくに
バーチャルメディカルカレッジの紹介
- 11 | 静岡県医学修学研修資金制度
- 15 | 静岡県内臨床研修病院の魅力
伊東市民病院
静岡県立総合病院
浜松赤十字病院
- 19 | 特集ページ
- 21 | ふじのくに地域医療支援センター
- 22 | 静岡県ってどんなところ？

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ理事長



静岡県知事

鈴木 康友

幸福度日本一の静岡県で活躍を

この春から医学部に進学される皆様、医師としての第一歩を踏み出された皆様に心よりお祝い申し上げます。

静岡県は、伊豆・東部には、首都圏への良好なアクセスや、世界遺産富士山、伊豆半島ジオパークが、中部には、清水港を中心とした物流網や、マリンバイオなどの最先端の海洋研究拠点、西部には、一次産業を含む一流のものづくりや、浜名湖などの多彩な観光資源がある豊かで素晴らしい県です。

本県では、県内で働く医師を養成するため、平成26年に「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」を創立しました。ここでは、静岡県医学修学研修資金制度の利用者に対し、県内勤務を促進する取組やウェブを活用した情報発信などを行っており、全国どこでも医学部に入学しても本県の地域医療の魅力を学ぶことができます。令和6年4月現在、ここで“学んだ”703人の方が本県の医療に貢献いただいております。

また、本カレッジの学長である宮地良樹先生は、静岡社会健康医学大学院大学の学長として、公衆衛生学にゲノム医学・医療ビッグデータ解析などの新領域を加え、県民の皆様の病気予防・健康寿命延伸の推進にも御尽力されています。

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジで学んだ皆様が、本県の地域医療の第一線で御活躍いただき、幸福度日本一の静岡県の実現と一緒に目指してくださることを御期待申し上げます。

略 歴

昭和32年	浜松市生まれ
昭和55年	慶應義塾大学法学部卒業
昭和60年	財団法人松下政経塾卒業
平成12年	衆議院議員(2期)
平成19年	浜松市長(4期)
令和3年	指定都市市長会会長
令和6年	静岡県知事

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ学長



宮地 良樹

医療へのこころざしある仲間が集う静岡県に

このガイドブックを手に取った皆さんは、医療を通じた社会貢献や病気を抱えた患者さんの治療を夢見て、医師になるため、日々の勉学に励んでいることと思います。

皆さんのこころざしを支えるため、静岡県は「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」を創立し、皆さんに県内で思う存分活躍していただけるよう、在学中から静岡県の地域医療の魅力に触れる機会を提供しています。

本カレッジでは、医学生を対象とした夏季セミナーを開催しており、全国各地の医学生が参加し、静岡県の医療を知っていただく機会を作っています。

また、静岡社会健康医学大学院大学では、第一線の医療現場にいる医師が働きながら専門的な研究ができる環境を用意しています。2024年からは、遺伝医療の観点から心理的・社会的に患者を支援する「遺伝カウンセラー養成コース」が創設されました。このように、社会健康医学の学識を社会に還元し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェッショナルな人材の育成に取り組んでいます。

静岡県には、充実した学びの場があり、こころざしある優れた医師が集まっています。是非皆さんも仲間となっただき、力を合せて静岡県の地域医療を支えていこうではありませんか。

皆さんが、将来、静岡県で末永く御活躍されることを期待しています。

略 歴

昭和26年	静岡市生まれ
昭和52年	京都大学医学部卒業
昭和60年	医学博士(京都大学)
平成4年	群馬大学医学部皮膚科教授
平成10年	京都大学大学院医学研究科皮膚科教授
平成26年	滋賀県立成人病センター(現滋賀県立総合病院)病院長 京都大学名誉教授
令和3年	静岡社会健康医学大学院大学学長 現在に至る



構造模型を用いて細部まで確認しつつ研修医を指導



「尊敬できる先輩や朋友との出会いを大切に」

浜松医科大学
医学部眼科学講座 准教授
医学部附属病院眼科 副科長

佐藤 美保 先生

これまでの医師としての来歴

私は1986年、名古屋大学医学部を卒業後、名古屋大学医学部大学院外科系眼科学に進みました。ただし、最初から小児眼科を専門分野として考えていたわけではありません。最初は小児科を希望しましたが、名古屋大学医学部眼科に「小児眼科」という専門分野があったこと、女性医師がずっと臨床に携わることができる考えたこと、手術ができることなどが小児眼科を選んだ大きなきっかけになりました。大学院では診療を行いながら臨床研究を続け、博士号(PhD)を取得し、その後1993年に米国Indiana大学小児眼科斜視部門へと留学しました。アメリカでは専門分野毎に定数がありますが、眼科の人気は非常に高く、眼科医になるためには学年でトップクラスの成績が必要です。それだけに、眼科のレジデントは常に勉強しています。またアメリカでPhDを取得するのは大変なことです。私の英語力が拙くて十分に意見を述べるができなくても、PhDだったことで周りから一目置かれたのは幸いでした。帰国後、1996年に名古屋大学医学部眼科の講師となり、2002年に堀田名誉教授のお誘いにより浜松医科大学に准教授として赴任しました。

自身を振り返り、今、医師・医学生に伝えたいこと

「海外で仕事をしたい」という思いが高校生のときからあって、大学受験の際は英文科も受験し、合格通知を手にしていました。しかし、英語を主とした職業より、別の職業の中で英語を活かす方ができるとの可能性が広がると考え、最終的に医学部に進学しました。しかし、アメリカの医師免許を取得するのはとてもハードルが高く、専門分野で留学することを目標としました。

当時は留学の先にこのような人生が待っているとは想像さえできませんでした。留学先のIndiana大学の小児眼科斜視部門にはアメリカ全土および世界中からフェロー(日本でいう専攻医)が勉強に来ていました。当時知り合った留学生たちとは今も親しくしていますし、皆それぞれの国を代表する小児眼科医となっています。常に高い意識をもった世界の医師たちに囲まれて過ごした1年半は大変有意義で、小児眼科医として生涯を全うしたいと強く思うようになりました。現在医学生である皆さんが、進路に迷うのは当然です。その時々で自身が最善と思う選択をすれば、どの科に進もうと生涯やりがいを持て続けることができるでしょう。

総合病院が地域の中で果たす役割とは

当院には希少な科がいくつかあり、私の専門である小児眼科もそのうちの一つです。地域の総合病院に小児眼科があると小さなお子さんのいるご家庭は安心できると思います。しかし、小児眼科医はまだ不足していません。私が赴任した2002年にはわずか58件だった手術件数が、この20年で



200件以上になりましたが、地域の総合病院や眼科クリニックは小児の手術ができる環境にはありません。小児眼科は通常の眼科の知識や技術にプラスして、まだ言葉の話せない子どもたちを診療する小児科医的な役割も果たしています。自分の意志を伝えられない幼い子どもたちの見る力を評価し、それを治療して正常に発達させていくことが小児眼科医の大きな役割です。地域の病院やクリニックには大学病院で手術を受けたお子さんや大人になった患者さんの生涯の眼のケアをする役割が求められます。

大学病院の役割とは

大学病院は日常の診療だけでなく研究と教育の役割をもっています。日々の診療の中で、医師は知識と技術を身に着けることができます。また、希少な症例を積み重ねることで新たな知見の発見につながっています。地域の眼科クリニックでは、患者さんを通じて最新の医療知識をブラッシュアップすることができます。そして大学病院と地域の病院の連携によって、患者さんは大学病院での高度な専門的意見をもとに近隣のクリニックで治療を受けることができます。当院は、「斜視・弱視といえば浜松医科大学医学部附属病院」と言われるまでになり、国内外から多くの眼科医が研修に來ています。さらに眼科診療になくてはならない視能訓練士の教育も積極的に行っており、地域の眼科クリニックから学びに來る方が数多くいらっしゃいます。このように教育にも力をいれることで、地域医療のレベルアップを行っています。

医師を目指す人へのメッセージ

研修医の頃に出会った先輩たちのことは忘れられないものです。中でも印象的だったのは、私がローテーション研修中に会ったある小児科の女性医師です。常に勉強していて、診療後、



その日のカルテの全てを教科書と照らし合わせて一緒に見直してくれるのです。あまりにも勉強家なので、素直な気持ちで「先生、どうしてそんなに勉強するんですか」と聞いたことがありました。すると、「私が事例を知らないせいで、治る病気なのに治せなかったら申し訳ないので」というお返事が返ってきました。確かに医師の仕事は、勉強を怠ったせいで患者さんを救えない可能性があります。私が1本でも多く論文を読もうと思うのは、彼女の言葉が心に響いたからです。今の若い研修医の皆さんも、この医師のような先輩に巡り会えたら、気構えも変わっていくでしょう。心のやわらかな若手の頃に、尊敬できる先輩に出会う経験があることを願っています。

2014年、私は国際斜視学会を京都で開催し、国内外から300名余の専門家が集まりました。皆さんも日々の業務を行いつつ、世界とも繋がり、どこにいても自分のすべきこと、自分にできることを頑張ってください。女性医師の活躍のチャンスも、私の若い頃と比べると格段に広がっています。世界を見渡せば、数多くの女性のリーダーがいます。最後に、静岡県は眼科医が不足している地域でもあるので、ぜひ静岡県で眼科医として活躍していただきたいと思っています。



呼び止められ、アドバイスを求められることも多々ある



医学修学研修資金

利用者の声

沼津市立病院
研修医

リクルーター
編

岸本 果奈美 先生

宮崎大学卒業/静岡県伊東市出身
(第10期ふじのくに次世代医師リクルーター)

医師を目指したきっかけ

幼い頃にかかりつけであった病院の先生との出会いがきっかけです。保育園の頃、毎月のように風邪にかかってしまい、地元には小児科がないため電車で1時間ほどかけて通院していました。

かかりつけの先生はどんな小さな悩みも聞いてくださり、“なんでも治せるお医者さんはかっこいいな”と幼心に思ったのを覚えています。それ以降、将来の夢は変わらず、ゆくゆくは自分の地元のような医師の少ない場所で医師として活躍できるようになりたいなと思っていました。

静岡県医学修学研修資金について

医学部進学を本格的に目指し始めたとき、一番の懸念が大学進学後の金銭面でした。その時に知ったのが静岡県医学修学研修資金です。この資金のおかげで生活費を工面することができ、家庭教師などのアルバイトを少しする程度で学業に専念できました。また、自由時間を確保でき、大学時代には自分のやりたいことにチャレンジしたり友人と出かけて多くの思い出を作ることができました。

多くの勤務先の中から病院をえらんだ理由

自分の出身である静岡県東部で勤務したいと思っていたので、その中で病院を決めました。研修プログラムの自由さ、自分のやりたいことができるか、診療科を満遍なく履修できるかなどを重視しました。医学部5年、6年生の時に病院見学へ行き、実際の雰囲気や研修医の先輩がどのように診療しているのを見学しました。指導医の先生方は熱心に指導して下さり、先生だけでなく他職種の方との関わりも多くあり、研修医の先輩がとても穏やかな雰囲気での研修していた様子が印象的であったので、現在勤務している病院に決めました。

初期研修病院について

私の勤務する沼津市立病院は、人口20万人程度の沼津市の3次救急を担っている病院です。病床387床、救急外来者数4,642人/年と多くも少なくもなく、臨床で学んだことを後からしっかりと勉強する時間も確保できる環境です。

研修プログラムについては、必修の診療科ローテーション以外の44週を自由に選択することができるので、後期研修やその先を見据えた研修をすることができます。また、沼津市立病

院にない診療科に関しては提携病院が数多くあり、とても充実した研修内容となっています。

病棟管理や救急初期対応はもちろんのこと、希望次第で内視鏡や外科の執刀など様々なことにチャレンジすることができますのも魅力のひとつです。例えば、当直の際、来院した腹痛の患者さんの初期対応をした後、緊急手術が必要だった場合、そのまま手術まで入らせてもらうこともできます。上級医の先生方はとても話やすく、科の垣根を越えて診療の一連の流れを見ることができるのは当院ならではのメリットだと思います。

静岡県の医療の良いところ、病院選びのアドバイス

静岡県では団塊世代が75歳以上となる2025年に向けて、「静岡県地域医療構想」を策定しています。病床の機能分化・連携の推進や、在宅医療の拡充は進んでいますが、医療者の数は依然として不足している状況です。

病院選びに関しては、自分の将来の進路に必要な研修を積めることももちろんですが、まだ進路が決まっていない人も含めて満遍なく診療科をローテーションできるような病院が理想だと思います。進路によっては、初期研修のうちにしか学ぶことができないこともありますので、最初の2年間で自分の将来の分野と関係がないことにも触れておくことで後々の診療にも役立つのかなと考えています。

そして、色々な病院を見学することも大事であると思っています。研修病院ごとに特色があり、何に力をいれているか、職場の雰囲気なども違います。また、実際に研修医から話を聞いてみると、思わぬ情報が手に入ることもあります。初期研修は短い期間ですが、その中で学ぶことは医学以外にも多くあるので、皆さん自身に合う研修病院を見つけて充実した2年間を送って欲しいです。



静岡県地域医療の魅力を発信します／ ふじのくに次世代医師リクルーター

静岡県では、県内で活躍する若手医師を“ふじのくに次世代医師リクルーター”として委嘱し、
本県の地域医療の魅力や情報を発信しています。現在、21名の若手医師が活躍中です。



ふじのくに次世代医師リクルーター委嘱状交付式



主な活動内容

- ・医学修学研修資金利用者意見交換会で医学生等と交流
- ・ふじのくに地域医療支援センターメールマガジンへの寄稿
- ・高校生等向け講演会出席



メールマガジンでリクルーターの先生からのメッセージを配信しています！／

中東遠総合医療センター 深見 真之介 先生（令和6年6月掲載）

こんにちは、中東遠総合医療センター研修医2年目の深見真之介と申します。私は小学校・中学校・高校時代を掛川市で過ごし、その後、川崎医科大学へ進学しました。大学1年生から卒業までの6年間、静岡県医学修学研修資金の貸与を受け、卒業後は中東遠総合医療センターで初期研修を行っています。今回は、医学生へのアドバイスがテーマということで、1年間の研修の感想を書かせていただこうと思います。

1年間の初期研修では様々な経験をさせていただきました。当院では、研修医が主体となって患者様を診療する機会が多いため、医師として患者様を診療することの責任感を強く感じるとともに、大きなやりがいも感じることができています。不安なことが多いですが、できることがひとつひとつ増えていることを実感しています。

学生の皆さんは、マッチング、Post-cc OSCE、卒業試験、国家試験等、同時にこなす時期を経験すると思います。どこまでできていて、次に何をすることが確認しながら進んでいけば、確実にゴールへ向かうことができると思います。皆様と静岡県で一緒に働けることを楽しみに待っています。

最後に、当院について紹介をさせていただきます。当院は掛川市立総合病院と袋井市民病院が合併し、平成25年5月に開院した比較的新しい病院です。開院後は、急性期疾患に対応できる体制が整えられ、救急・集中医療部門が強化されるなど地域医療への貢献のために様々な取り組みがなされています。幅広い診療科を揃えており、病床数も多く症例も多岐にわたっているため、様々な経験を積むことができます。救急の機能も強く、救急車の受け入れ台数も県内で有数の病院です。臨床研修病院としての体制も向上しており、今年度も多くの見学生が来院しています。

当院の大きな魅力の一つは、研修医を育てようという雰囲気にも満ちていることです。上級医をはじめ、看護師や薬剤師、栄養士などのコメディカルの方々が、皆温かく熱心に御指導くださいます。医師としての一歩を踏み出す環境としてかなり恵まれていると思います。文面だけではイメージが困難だと言う方には随時見学を行っております。一度、当院へ見学に来ていただいて、街、人、病院すべてを実感してみてください。お待ちしております。



県内で活躍する
リクルーターの
メッセージはこちらから
ご覧いただけます。



医師を目指したきっかけ

医師を目指したきっかけは、幼少期に出会った小児科医への憧れです。また、高校生の時、母が病気で手術を受けた際、辛い治療を経て明るくなる母の姿を目の当たりにし、病気の治療が身体だけでなく心も癒す力を持つことを実感しました。この経験に加え、大学病院での1日模擬医療体験に参加したことで医師になる目標が明確になりました。手術の縫合体験、内視鏡などの医療機器に触れる体験や現役医師との交流会を通して、これまでただ漠然と想像していた医療現場の一部を間近に感じ、より現実的なイメージを持つことができました。

静岡県医学修学研修資金について

私立大学の受験が決まった段階で、学費の負担を少しでも軽減するため、本資金の利用を考えました。診療科の制限がなく専門研修プログラムが充実していることに加え、女性医師に対しての支援が厚いことに魅力を感じました。また、大学入学後には意見交換会や病院見学ツアーに参加できるため、在学中に卒後の進路イメージを立てやすいと思います。

受験勉強について

勉強に身が入らないときは、まず10分間机の前に座って手を動かすなど、ハードルの低いことから始めるよう心がけていました。また、1週間単位でやるべきリストを決め、それを6日間で終わらせる計画を立て、残りの1日を予備日として、終わらなかったことを片づける日にするという勉強法を実践していました。1週間の内でやるべきことを消化できて計画通りに進められるのでおすすめです。

日本大学医学部医学科/令和5年度入学(地域枠)
埼玉県出身

近藤 結さん

医学生編

大学での生活について

定期的な試験に加え、人体解剖実習をはじめとした各科目の実習があり、忙しい時期もありますが、友人と協力しながら乗り越えています。親身になってくださる先生方も多く、日々周りの人の支えを実感しています。また、勉強以外にアルバイトや部活動にも精力的に取り組んでいる学生も多く、多彩な刺激を受けています。

医学部を目指す学生にメッセージ

受験勉強では、成績が思うように上らず、他人と比較して辛くなる時もあると思いますが、適度に息抜きをして睡眠時間は無理に削らず、精神面に気を配ることが大切だと思います。目標に向かって努力した経験は、絶対に無駄にはなりません! 皆さんが後悔のない結果を残せるよう応援しています。



医学生編

帝京大学/令和2年度入学(地域枠)
静岡県静岡市出身

渡邊 敬太さん

医師を目指したきっかけ

お世話になった地元静岡に貢献できる仕事に就きたいと思っていたところ、医師不足の情報を知り、医師になって静岡の役に立とうと思ったのがきっかけでした。

静岡県医学修学研修資金について

地元が静岡ということもあり、静岡で働くことは決めていたことと、研修制度がしっかりしていると感じて選びました。入学した2020年はコロナが流行っていた時期だったため、イベントに参加できませんでしたが、静岡県が研修資金を利用している者同士の交流の場をZoomで設けてくれるなど、学生を気にかけてくれたことが不安な気持ちを解消してくれ、入学当初には大変助かりました。

受験勉強について

数学の勉強は基礎がしっかりしていないと応用ができないので、基礎を固めてからとにかく色々な問題を解いて経験値を高めることが大事です。

英語は長文を読み込み、限りある時間内で情報を整理する練習をすれば難しいことを聞いてはきません。論文を読めるレベルまでの英語力のある学生が求められていますので、時間があるなら英語論文をじっくり読んでみるのもいいかもしれません。

理科(生物)の勉強は、実験問題に強くなることが大切です。何の操作をしているのか、その操作の結果で何が分かったのかを細かく整理しないと混乱するくらい高いレベルまで要求されます。一文一文区切りながら情報整理する練習がおすすめです。

大学での生活について

1,2年では体の機能を生理学・生化学的観点から細かく勉強します。3年生以降は各科の臨床的に大事な疾患を国家試験ベースで習い、4年生のCBT※に合格したら座学で学んだ知識をベースに病院で実習を行います。その時には実際に患者さんの前に立ってある程度の医療行為や手術に入ることが多くなります。

※CBT: 臨床実習に必要な医学知識を総合的に理解しているか、コンピューターを用いて評価する試験

医学部を目指す学生にメッセージ

医学部は入ってからがきついと聞いていましたが、まさにその通りだと痛感しています。しかし、勉強のやり甲斐もまた同じ位あります。受験勉強をしているとどうしても合格がゴールと考えてしまいがちですが、ゴールは医師として働いてからの数十年後だと思ってください。そうすれば多少浪人しても誤差の範囲だと思い、焦る気持ちも少しは落ち着くと思います。私は実際にそう思うことによって心を落ち着かせていました。受験勉強で自分なりに確立した勉強方法を見つけられれば、入学後もその勉強方法は武器になります。辛いことも悔しいこともたくさん経験するかもしれませんがそれを乗り越えた先に、自分が目指した道の一步目が見えてきます。受験で経験した苦悩も武器になるので挫けない心で日々を過ごしてください。



全国の 静岡県医学修学研修資金 奨学金利用者からの声



発展途上国でのボランティアや海外派遣の経験を通して、困っている人や苦しんでいる人を自分の手で救いたいと思ったことがきっかけです。

東海大学



テレビで白血病の方を見て、このような子供たちを治したいと思ったから。

順天堂大学



静岡県内で働きたく、県内で働けば返還免除されることが魅力的だったため。

埼玉医科大学



診療科を選ぶ点に魅力を感じたため。

聖マリアンナ医科大学

Q1

医師を目指したきっかけは



東日本大震災の時にテレビで目にした医療者の姿に憧れたから。

国際医療福祉大学



コロナ禍で医師不足のニュースを頻繁に観たため。

東海大学



地域に貢献できる人になりたいと思ったため。

埼玉医科大学



静岡県が好きだったから。

国際医療福祉大学

Q2

数ある奨学金の中から
静岡県医学修学研修資金を
選択した理由



医学部は他の学部とは異なり、将来を見据えて学ぶことができるため、とても有意義な時間を過ごすことができます。頑張ってください。

藤田医科大学



受験勉強は大変かと思いますが、選択肢を広げるという意味でも、静岡県医学修学研修資金を考えてみてください。

国際医療福祉大学



医師になれる選択肢は多いです！頑張ってください！

近畿大学



キャリアを形成するために手厚い支援をしてくださるから。

岩手医科大学



東海道新幹線が通っているから。

帝京大学

Q3

医学部進学を目指す
高校生への
メッセージ



辛いこともあると思いますが、必ず道は拓けると思うので、自分を信じて頑張ってください。

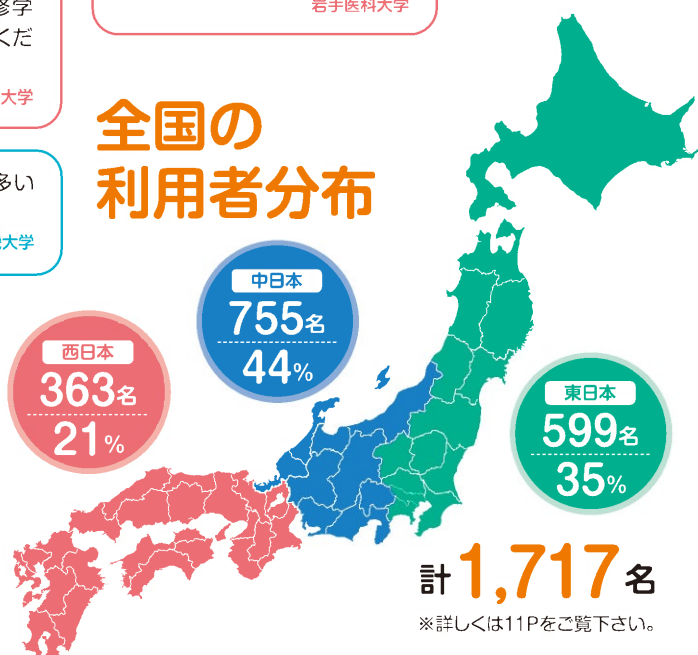
岩手医科大学



経済的に私立医学部を諦めてしまっている学生には、色々な制度を知って諦めずに頑張ってください。

東海大学

全国の
利用者分布



ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ

理事長／鈴木康友 名誉学長／本庶佑 学長／宮地良樹

ふじのくに地域医療支援センターの運営する仮想医科大学「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」では、静岡県医学修学研修資金を利用している全国の医学生等を対象として、県内イベントの開催やウェブコンテンツの配信を行っています。
また、卒業後は、全国の協定締結大学や公的病院等との連携により、静岡県での勤務をサポートします。
カレッジ入学前の高校生には、医師・医学部進学を目指す方に向けたセミナーの開催をしています。

高校

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジに入学するまで

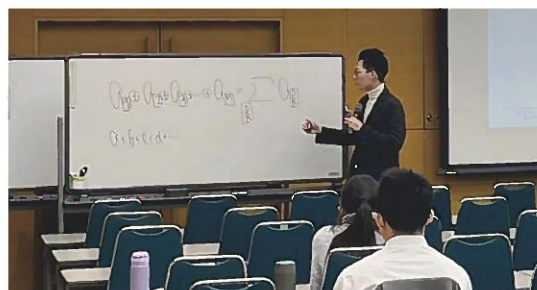
こころざし育成セミナー

県内病院の協力により、医師の講話、模擬手術体験、施設見学などを行っています。



フォローアップセミナー

大手大学進学塾による受験対策講座、静岡県地域枠設置大学の紹介などを行っています。



県内外の大学医学部へ進学

静岡県医学修学研修資金の貸与

月額20万円の貸与(6年間)

入学

ふじのくに
バーチャルメディカル
カレッジ

詳しくは11~12Pを
ご覧ください

医学部(6年間)

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジに入学してから

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー

県内で活躍する医師の講演会や先輩医師であるリクルーター等との昼食会やグループワークを行い交流を深めています！



参加者の声

- ・静岡県で働く未来をより深く見つめ直す機会になった
- ・宮地先生の講話を聴いて、卒業後のキャリア形成について知ることができ、自分の将来が想像しやすくなった
- ・自分がどの道に進むかまだ明確には決まっていないが、与えられた環境で努力を怠らないことが大事であると思えた

医学修学研修資金利用者意見交換会

キャリア形成支援医師や先輩医師との交流を通して地域医療を学びます。



参加者の声

- ・キャリア形成プログラム等の制度について理解することができた
- ・卒後のキャリアについてイメージすることができた

病院合同説明会

県内臨床研修病院の指導医や先輩研修医が研修内容や勤務について説明します。



参加者の声

- ・明瞭に自分のキャリアについて考えられるようになった
- ・各病院のプログラムや当直のシステムを知ることができ参考になった

静岡県には24の臨床研修病院があり、特色ある臨床研修プログラムを用意

医師臨床研修マッチングに参加し研修先を決定

- Welcome Seminar in Shizuoka
- 屋根瓦塾 in Shizuoka

詳しくは19Pをご覧ください

2年目

- 春:専攻医希望の診療料などを県に報告
- 夏:キャリア形成支援医師との面談を実施
- 秋:参加を希望する専門研修プログラムに応募
- 冬:勤務先の決定



医師キャリア形成支援業務

静岡社会健康医学大学院大学
県立総合病院

浜松医科大学

- ・キャリア形成支援
- ・医学修学研修資金被貸与者の勤務先病院の決定支援

静岡県内の病院では全19領域の専門研修プログラムを用意

専門研修期間中

プログラムリーダー、県と協議の上、勤務先を決定

専門研修後

秋に専任医師との面談を実施、県と調整の上、専門研修後の勤務先決定

専門研修
プログラム



静岡県が徹底サポート! 静岡県医学修学研修資金制度

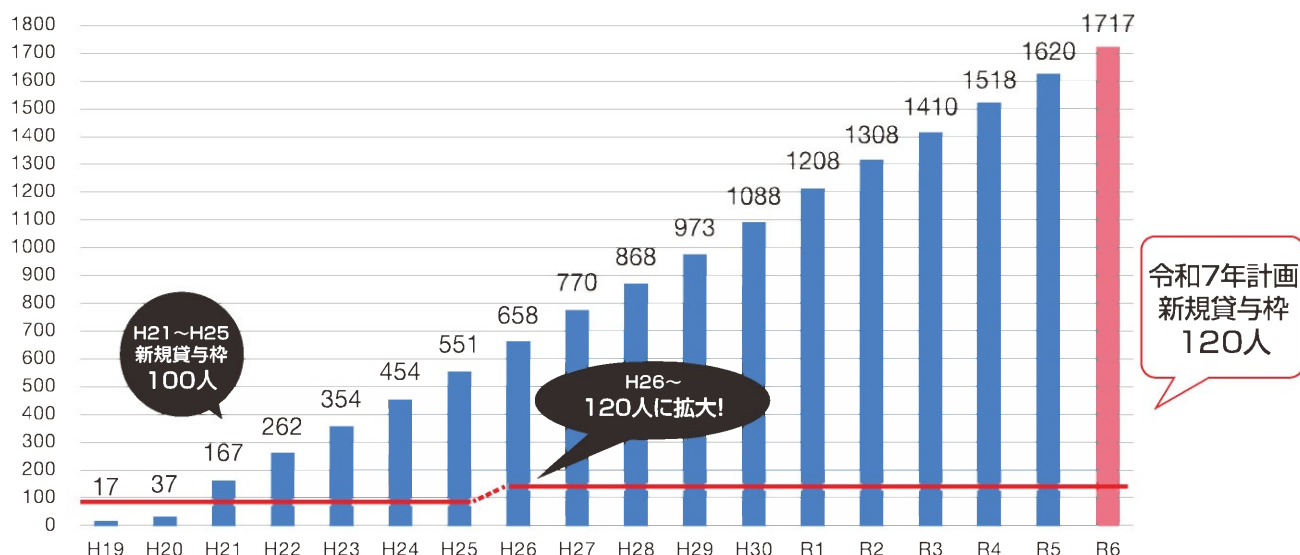
制度の概要

貸与期間	原則6年間(正規の修業年限)
貸与額	月額20万円(6年間総額1,440万円)
返還免除 勤務期間	勤務義務: 9年間(貸与期間の1.5倍の期間) 履行期限: 16年間(貸与期間の2倍+4年)
貸与枠	【一般枠】入学後に県へ貸与申請し、書類審査・面接審査を経て貸与決定 (対象: 全国の医科大学) 【大学特別枠】入学後に大学へ貸与申請し、大学から県への推薦を経て貸与決定 (対象) 浜松医科大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、慶應義塾大学、杏林大学、 東京慈恵会医科大学、日本大学、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、 聖マリアンナ医科大学、昭和大学、岐阜大学、京都大学、国際医療福祉大学 【地域枠】貸与を受けることを条件に別枠入試にて出願⇒合格となった場合貸与決定 (対象: 指定10大学)
診療科の指定	なし

※大学院生や専攻医を対象とした制度もあります。

(注) 令和元年度以前に貸与を開始された方は、一部内容が異なりますのでご注意ください

実績(令和7年1月現在1,717人が利用しています)



大学別利用者

静岡県地域枠設置大学

大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者
浜松医科大学	586	秋田大学	17	岩手医科大学	9	東邦大学	4
聖マリアンナ医科大学	94	埼玉医科大学	17	東北大学	8	京都府立医科大学	3
川崎医科大学	85	名古屋大学	17	山形大学	8	神戸大学	3
近畿大学	64	三重大学	15	熊本大学	8	兵庫医科大学	3
関西医科大学	60	滋賀医科大学	14	岐阜大学	7	東北医科薬科大学	3
東海大学	53	福井大学	13	宮崎大学	7	佐賀大学	2
昭和大学	52	獨協医科大学	13	群馬大学	7	愛媛大学	2
日本大学	50	島根大学	12	山口大学	6	和歌山県立医科大学	2
日本医科大学	36	琉球大学	12	弘前大学	6	大阪市立大学	2
順天堂大学	35	金沢医科大学	11	信州大学	5	東京大学	2
藤田医科大学	30	徳島大学	10	鳥取大学	5	福岡大学	2
帝京大学	26	福島県立医科大学	10	京都大学	5	香川大学	2
杏林大学	23	久留米大学	10	北海道大学	5	大阪大学	1
愛知医科大学	23	国際医療福祉大学	10	広島大学	5	千葉大学	1
北里大学	21	慶應義塾大学	9	旭川医科大学	5	鹿児島大学	1
東京医科大学	19	新潟大学	9	長崎大学	4	九州大学	1
東京慈恵会医科大学	19	東京科学大学	9	横浜市立大学	4	札幌医科大学	1
東京女子医科大学	19	高知大学	9	筑波大学	4		
金沢大学	18	富山大学	9	大阪医科薬科大学	4		
山梨大学	18	名古屋市立大学	9	大分大学	4		
							1,717

静岡県と連携する大学

静岡県では、県内外の大学と連携して、在学中から卒業後までの様々な支援を通じて、本県の地域医療に貢献する医師の育成を行っています。

静岡県地域枠を設置する10大学



浜松医科大学

所在地: 静岡県浜松市
地域枠定員: 15名



入試サイト
www.hama-med.ac.jp



順天堂大学

所在地: 東京都文京区
地域枠定員: 5名



入試サイト
www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/med/

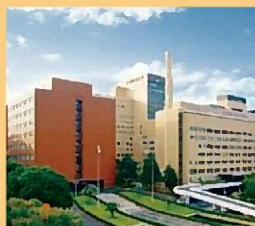


近畿大学

所在地: 大阪府大阪市
地域枠定員: 10名



入試サイト
kindai.jp/exam/



川崎医科大学

所在地: 岡山県倉敷市
地域枠定員: 10名



入試サイト
m.kawasaki-m.ac.jp/examination/



東海大学

所在地: 神奈川県伊勢原市
地域枠定員: 3名



入試サイト
www.med.u-tokai.ac.jp/web/eei/



帝京大学

所在地: 東京都板橋区
地域枠定員: 2名



入試サイト
www.teikyo-u.ac.jp/applicants/



関西医科大学

所在地: 大阪府枚方市
地域枠定員: 8名



入試サイト
www.kmu.ac.jp/admissions/



日本医科大学

所在地: 東京都文京区
地域枠定員: 4名



入試サイト
www.nms.ac.jp/college/nyushi/



昭和大学

所在地: 東京都品川区
地域枠定員: 8名



入試サイト
adm.showa-u.ac.jp/



日本大学

所在地: 東京都板橋区
地域枠定員: 3名



入試サイト
www.nihon-u.ac.jp/admission_info/

キャリア形成卒前支援

地域枠で入学した方等に対し、在学中から卒業後に県内の地域医療に貢献するキャリアを描いていただくために、キャリア形成卒前支援を行っています。講義や勉強会、病院見学ツアーなどを通して、静岡県の医療を知っていただく様々な機会を設けています。



静岡県との協定締結大学

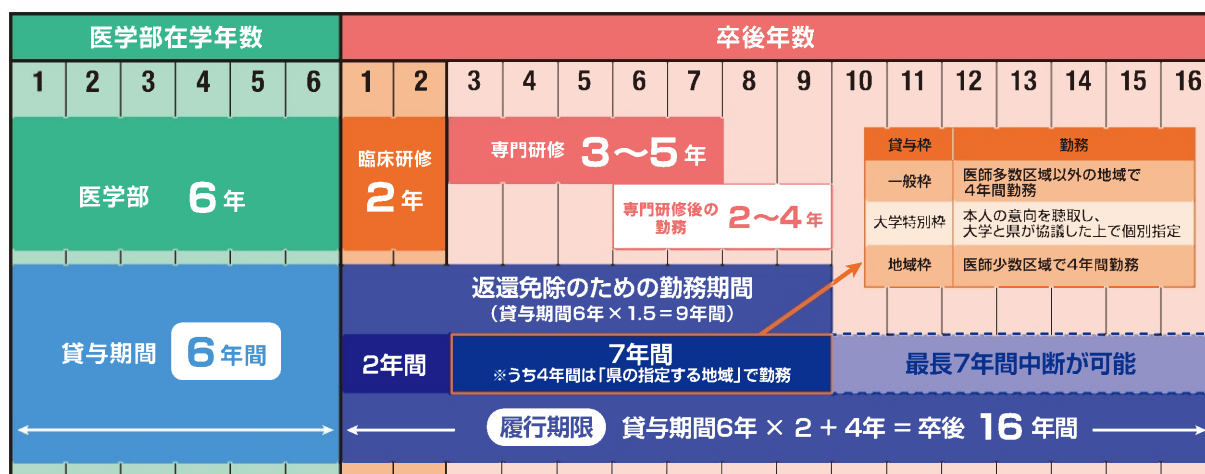
聖マリアンナ医科大学

平成26年度に協定締結。医学生への育成や指導医の派遣を通じて、県東部地域の医療の確保に取り組んでいます。

勤務先決定方針

貸与枠	令和2年度以降 入学者	令和元年度以前 入学者
一般枠	臨床研修終了後、返還免除勤務期間のうち4年間は、県の指定する地域（医師多数区域以外を想定）で勤務 ※希望者は、キャリア形成プログラムを適用	専門研修終了後、残りの勤務義務期間を各1/2ずつA・B病院で勤務 【A病院】 本人が希望する2次医療圏域で県が指定する病院 【B病院】 A病院が属する地域とは異なる地域で県が指定する病院
大学特別枠	本人の意向を聴取し大学と協議した上で県が個別に指定する機関で勤務	
地域枠	キャリア形成プログラムの適用 （臨床研修終了後、7年間のうち4年間は医師少数区域等で勤務）	【キャリア形成プログラムを希望】 キャリア形成プログラムの適用（大学6年時に適用同意書を提出） 【キャリア形成プログラムを希望しない】 一般枠と同様の勤務

返還免除を受けるための勤務シミュレーション（令和2年度以降入学者）



医学修学研修資金の県内勤務者数（令和6年4月現在）

■ 医師多数区域 ■ 医師中位区域 ■ 医師少数区域 医師少数スポット

東部			中部			西部		
圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計
賀茂	下田メディカルセンター	1	静岡	県立こころの医療センター	4	中東遠	磐田市立総合病院	39
	伊豆今井浜病院	2		県立こども病院	10		中東遠総合医療センター	28
	西伊豆健育会病院	1		県立総合病院	43		市立御前崎総合病院	4
熱海 伊東	伊東市民病院	3		静岡市立静岡病院	43		菊川市立総合病院	10
	国際医療福祉大学熱海病院	1		静岡市立清水病院	7		公立森町病院	4
駿東 田方	静岡医療センター	13		静岡赤十字病院	20	西部	公的医療機関等以外	3
	県立静岡がんセンター	11		静岡済生会総合病院	24		浜松労災病院	4
	沼津市立病院	19		JA静岡厚生連 静岡厚生病院	2		天竜病院	2
	中伊豆温泉病院	1		JA静岡厚生連 清水厚生病院	1		浜松医療センター	38
	三島総合病院	1		清水駿府病院	1		浜松市リハビリテーション病院	2
	沼津中央病院	2		公的医療機関等以外	5		国民健康保険佐久間病院	1
	NTT東日本伊豆病院	1	志太 榛原	島田市立総合医療センター	16		浜松赤十字病院	12
	聖隷沼津病院	3		焼津市立総合病院	15		JA静岡厚生連遠州病院	15
	順天堂大学医学部附属静岡病院	9		藤枝市立総合病院	27		聖隷浜松病院	39
	公的医療機関等以外	2					聖隷三方原病院	33
富士	富士宮市立病院	22					浜松医科大学医学部附属病院	131
	共立蒲原総合病院	2					公的医療機関等以外	6
	富士市立中央病院	14						
	鷹岡病院	2						
	公的医療機関等以外	4						
東部計		114	中部計		218	西部計		371

※公的医療機関等以外は返還免除後の定着者等

※医師少数区域・医師少数スポット等は、今後変更になる可能性があります。

合計 703名

静岡県キャリア形成プログラムの概要

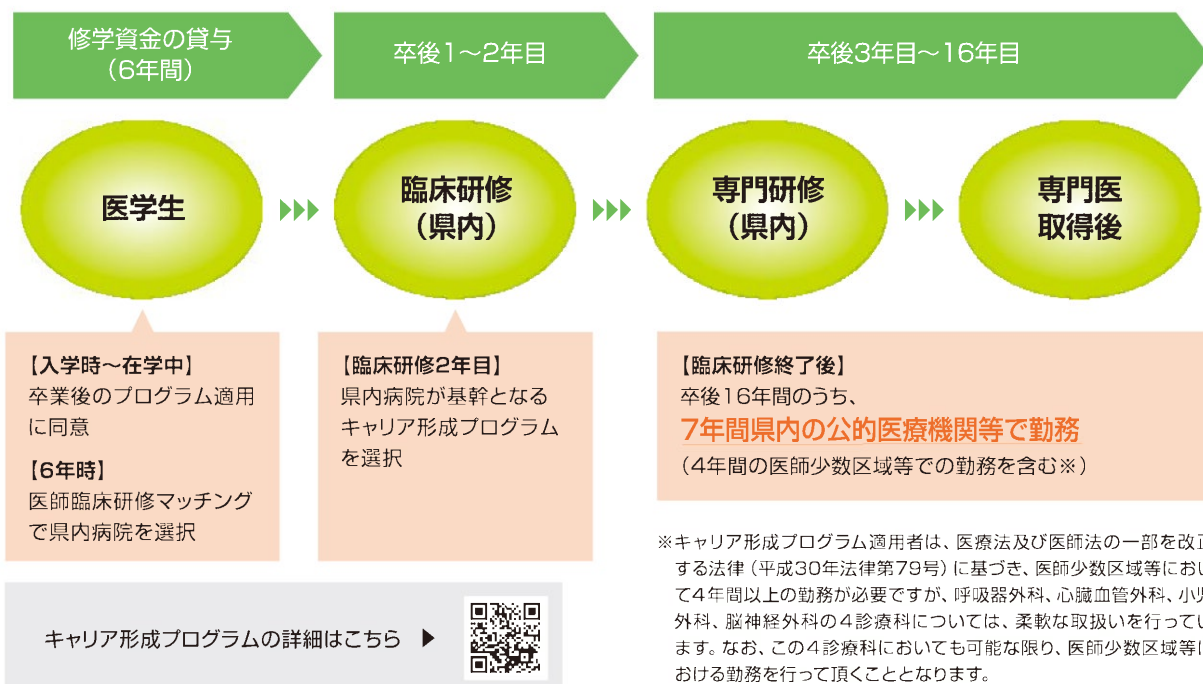
(1) 概要

医師としての能力開発の向上・地域医療への貢献を両立することができるプログラム

(2) 対象者

- ・ 令和2年度以降に貸与を開始した地域枠医師
(令和2年度及び3年度入学者は6年生進級時、令和4年度以降入学者は入学時に適用同意)
- ・ 一般枠、大学特別枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)
- ・ 令和元年度以前に貸与を開始した地域枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)

(3) プログラムイメージ



配置対象病院の医師不足状況 (令和6年10月現在)

各診療科の医師不足状況は以下のとおりです。

診療科	不足数	うち医師少数区域等
内科	233	73
皮膚科	13	7
小児科	27	7
精神科	29	13
外科	76	30
泌尿器科	19	10
脳神経外科	25	10
整形外科	27	12
形成外科	8	3
眼科	20	9
耳鼻いんこう科	18	7
産婦人科	33	12
リハビリ科	18	10
放射線科	42	10
麻酔科	57	12
病理診断科	24	2
臨床検査科	6	3
救急科	28	6
総合診療科	9	4
その他	18	2
計	730	242

令和元年度以前入学者の返還免除のための勤務シミュレーション

本人と協議し、その時点における医師の充足状況等を勘案し、医師不足の病院の中から以下の2つの病院を県が勤務先として決定する。

A病院：本人が希望する2次医療圏域で県が指定する病院

B病院：A病院が属する地域とは異なる地域で県が指定する病院

※B病院については、原則、医師少数区域で勤務(状況により中位区域での勤務となる可能性がある。)

【6年間貸与を受けたケース】

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
勤務	臨床研修		専門医研修プログラム等				A病院		B病院:A病院が属する地域(西部)とは異なる地域の病院		—
勤務先	県内の臨床研修病院		—				西部		東部又は中部		—
算定	1年		4年				2年		2年		9年

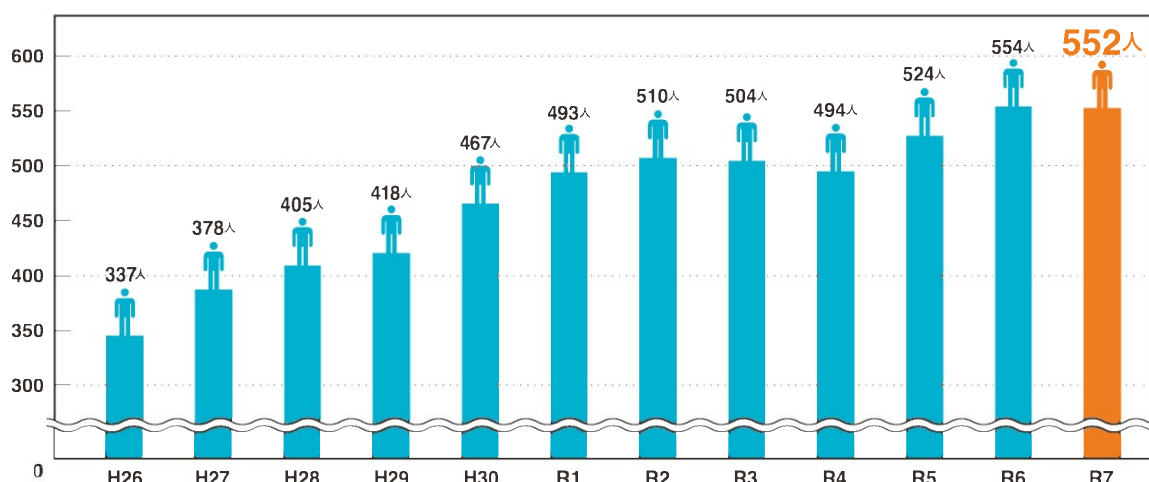
専門医資格取得後の残勤務期間の半分をA病院に勤務し、さらに残りの期間をB病院で勤務。

静岡県内 臨床研修病院の魅力

静岡県には、24の臨床研修病院があり、それぞれ特色ある臨床研修プログラムを提供しています。
臨床研修医は、この10年間で200名近く増え、令和7年度に臨床研修を行う医師は552名となる見込みです。
このように、静岡県で医師としてのキャリアをスタートする方が増えています。

本県の臨床研修医数の推移

本県では、医学修学研修資金の貸与、ふじのくにバーチャルメディカルカレッジでの取組、県内各病院との協力を通じて、臨床研修医数のさらなる増加に向けて取り組んでおります。



臨床研修 24病院の一覧

西部地域9病院

磐田市立総合病院
中東遠総合医療センター
浜松労災病院
浜松医科大学医学部附属病院
浜松医療センター
浜松赤十字病院
JA 静岡厚生連遠州病院
聖隷浜松病院
聖隷三方原病院

中部地域8病院

静岡県立総合病院
静岡市立静岡病院
静岡市立清水病院
静岡赤十字病院
静岡済生会総合病院
島田市立総合医療センター
焼津市立総合病院
藤枝市立総合病院

東部地域7病院

伊東市民病院
国際医療福祉大学熱海病院
静岡医療センター
沼津市立病院
順天堂大学医学部附属静岡病院
富士宮市立病院
富士市立中央病院

臨床研修病院の掲載ページ



fujinokuni-doctor.jp/igakuse/kenshu/index.html



CLOSE UP!

伊東市民病院

臨床研修センター長 / 総合診療科科長

田中 まゆみ 先生

Dr. Mayumi Tanaka

離島でも都会でも研修できる地域密着型オールラウンド研修

全国で地域医療研修が可能な
2.5次救急病院

伊東市民病院は地域医療振興協会が運営する250床の基幹型臨床研修病院です。この規模で「基幹型」? そう、当院は、救急患者数6,887人(うち救急車搬入4,474人*)と、非常に密度の濃い2次救急を担っています。伊豆半島の3分の2の地域をカバーし、ヘリポートもあり、2次というより2.5次救急対応で、重症から軽症まであらゆる領域の患者が受診します。「市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します」という病院の理念どおり、当院の初期研修プログラムは「地域医療指向プログラム」と「地域医療重点プログラム**」の二つで、ともに「地域医療」を掲げています。その特色は、離島を始め地域色豊かな全国の地域医療振興協会傘下の医療機関と連携しての院外研修にあります。^{おもしろい事だ}「巷々に名医あり」、地域愛と人間愛に溢れた指導医の熱意ある診療姿勢から多くを学べます。

*「3分で知る伊東市民病院」
<https://ito-shimin-hp.jp/recruitsite/known/>

**「地域医療重点プログラム」は、一般のマッチングに先行して選考を行う運用を厚生労働省が認めた枠で、伊東市民病院は2名確保しています。いわゆる「地域枠」の医学生が対象で、医学部6年生進級時に希望者を募ります。詳しくはふじのくに地域医療支援センターにお問い合わせください。

ひとりひとりの患者を総合的に
診療

院内では、世界水準のEBMを実践する東京ベイ・浦安市川医療センターなどから派遣されて来る専攻医のマンツーマン指導のもと日々の診療にあたります。高齢化の進む伊東市では、急性期治療を終えた患者がリハビリテーションに励み嚥下機能訓練を積んで、独歩経口摂取で自宅退院できるよう、「地域包括ケア」「全人的医療」に院内外が多職種医療チームで取り組んでいます。最新の医療知識と、目の前の患者さんのニーズをいかに両立させるか、人道的倫理的ジレンマやチャレンジにも向き合う初期研修で、「医の基本」が自然と身に沁み込んでいきます。

入職時オリエンテーション期間にシミュレーションセンターで手技訓練を積み、上級医監督のもと手技も数多く経験できます。研修医は、救急で初期対応した患者さんを入院後そのまま引き継ぐことも多く、希望すれば外来や在宅訪問診療まで、中小規模の病院ならではの全人的・継続的な医療を経験・学習・実践することができます。

働き方改革・福利厚生

ライフ・ワークバランスも万全で、当直不可日を前もって申請すればその日に当直が当たることはありませんし、当直明けは引き継ぎが済み次第(遅くとも10時頃には)帰宅できます。院内にも宿舎にも源泉かけ流し温泉(源泉はそれぞれ異なります)があるので自慢で、疲れていてもいつでもゆったりと温泉で生氣を取り戻せます。観光地伊東の山海の珍味・レジャー(サーフィン・ダイビング・ゴルフ)も楽しむことができます。東京まで1時間半ほどで行けるので、研修も学会も(年間上限はありますが交通費・宿泊費とも全額支給)、教養的娯楽も満喫できます。

病院見学の交通費宿泊費支給

「幅広い症例を経験できる」「住民も看護師さんもやさしい」と当院研修医は口を揃えます。研修医ひとりひとりの個性を尊重して、「楽しく誇りを持てる」効率的な研修になるよう支援しますので、百聞は一見に如かず、ぜひ見学に来てください。みなさんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。

伊東市民病院

所在地 : 静岡県伊東市岡196-1

TEL : 0557-37-2626

E-MAIL : ito372626@eagle.ocn.ne.jp



管理者 川合 耕治





CLOSE UP!

地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立総合病院

副院長 / 教育研修部長 / 呼吸器内科

白井 敏博 先生

Dr. Toshihiko Shirai

地域医療に貢献できる医師となる

静岡県の中核病院として

静岡県立総合病院は、静岡市葵区にある病床数718床、31の診療科を備えた総合病院です。静岡県の中核病院として、急性期医療、2次及び3次救急医療を担っています。「がん医療」、「循環器医療」、「救急医療」を3本柱とし、静岡市のみならず、県内全域から患者を受け入れています。

研修カリキュラム

当院では、2年間の初期研修期間のうち、内科6か月、救急科3か月、麻酔科、外科を各2か月、産婦人科、小児科、精神科、地域医療を各1か月の合計17か月を必修とし、7か月は希望科を選択できるようにしています。小児科、産婦人科プログラムの場合は、上記に加えて小児科または産婦人科を5か月（計6か月）まわり、残りの2か月は希望科を選択してもらいます。必修科の研修として、静岡県立静岡がんセンターや静岡県立こども病院等の専門病院へ行くことも可能です。1年次は必修診療科を主にまわってもらいますが、志望する診療科には優先的にまわるようローテーションを組んでいます。さらに、海外研修制度があり、毎年10名以上の研修医がUCLAでの研修に参加しています。

基本的な診療能力を身に付ける上で、

救急における経験は重要です。当院は、高度救命救急センターに指定されており、重症例や稀少疾患に至るまで幅広い症例を経験できます。研修医は、救急科での3か月の研修と救急当直において、ファーストタッチから各診療科へのコンサルテーションまでを主体的に行い、技術だけではなく、的確な判断能力を磨いていきます。もちろん、指導医がしっかりとバックアップをしますし、当直も必ず上級医がいますので、研修医だけで診療にあたるようなことはありません。

充実したサポート体制

当院には、100名の臨床研修指導医が在籍しており、標榜科全てに指導医がいるので、内科系、外科系満遍なく希望する診療科で適切な指導を受けることができます。また、12の診療領域で専門医研修の基幹施設になっており、現在約50名の専攻医が勤務しています。専攻医は指導医と一緒に初期研修医の指導にあたっており、また、メンターとして日々の研修や進路について相談に乗ってくれています。初期研修修了後も専攻医として当院に残る医師が増えており、研修病院として評価してくれていることを嬉しく思うと同時に、研修医の身近なサポーターとして大変心強く感じています。

診療科での研修以外にも、知識・技術の習得の場をたくさん設けています。平成29

年にリニューアルしたメディカルスキルアップセンターには、医療教育用器材やシミュレーターを数多く備えており、日常的に診療に必要なものから、侵襲性の高い手技まで幅広く練習することができます。24時間いつでも利用可能です。同センターを使って月1回の基礎臨床講座や、CV、心エコーなどの実技講習も開催しています。

また、UCLAの研修希望者が多いので、他大学から講師を招いて医学英語研修を月2回開催しています。研修医のみならず、海外での学会発表を控えた医師も参加しており、海外研修で必須となるプレゼンやディベート力を養うことができます。

共に成長する仲間と出会う

2年間の研修を有意義なものにしていく上で、共に研修生活を送る仲間の存在は大きいと思います。当院に在籍する初期研修医は、1・2年次合わせて45名と、市中病院としては比較的多いことが特徴です。皆、出身地も大学も、研修医になるまでの経歴も様々です。苦手なことは補い合いながら、互いに成長する。そして、将来を考える上で多角的な視野を与えてくれる、そんな仲間と出会えるはずですよ。

是非一度、当院に見学に来ていただき、実際に雰囲気を感じていただければと思います。

静岡県立総合病院

所在地 : 静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

TEL : 054-247-6111

E-MAIL : gh-kyoiku@shizuoka-pho.jp



院長 井上 達秀



CLOSE UP!

西部

浜松赤十字病院

臨床研修プログラム責任者 / 副院長兼整形外科部長

荻原 弘晃 先生

Dr. Hiroaki Ogihara

のびのびと診療し、実力高める研修を

浜松市北部に位置する中核病院

浜松赤十字病院は312床の病院で、浜松市の2次救急を担当する7病院の中で、最も北部に位置しています。浜松市は人口約78万人の政令指定都市で、南北に広く、北部には広大な山間部を有する天竜区が広がっています。当院は6日に1回の輪番制の2次救急担当病院であり、さらに天竜区、浜名区など浜松市北部の医療を担っています。病院前にはヘリポートがあり、ドクターヘリ、防災ヘリなどで、空路による救急搬送も行われています。診療科としては、循環器内科、整形外科、外科、消化器内科の医師が多く、それぞれの科の特性を生かした診療を行っています。医師数は大病院のように多くないため、全員顔見知りで、診療上の相談や疑問などを科の垣根なく話し合うことができ、さらには基本手技も比較的早く修得できる環境です。

研修プログラムについて

当院は1学年6名の初期研修医を受け入れており、2年目の研修医が1年目の研修医をサポートする体制をとっています。プログラムとしては、常勤医のいない産科、精神科の研修は、浜松医科大学医学部

附属病院、神経科浜松病院などをお願いしています。他に地域医療として近隣のクリニック、回復期病院での1か月研修があります。また、救急医療として、初期研修医が日中の救急のファーストタッチを行っています。これは、研修が見学で終わらないようにするためです。私たちは多くの患者さんを診ることにより、医師としてのスキルアップが期待できると考えています。その際の医療過誤リスクを考慮して、電子カルテ上も指導医が必ず設定されるようにして、初期研修医に責任が及ばないようにしています。

研修1年目で多くの必須項目が達成できるため、2年目の研修は自由度が高く、各初期研修医の要望に応じた研修を行っています。日本赤十字社のネットワークを使って、他県の赤十字病院に研修に行くこともできます。当院に最も近い浜松医科大学医学部附属病院で、希望の科の研修を受けることもできます。

災害医療について

近年の自然災害の増加に対応して、当院はDMAT、日本赤十字社救護班等として多くの救護派遣を行ってきました。当地区でも災害拠点病院として、定期的に救護訓練を行っています。初期研修

医も、病院前救護所で、トリアージチームとしての訓練を行っています。災害医療の研修も重要と考えています。

学会発表について

初期研修医には、指導医の協力の下、研修中に日本内科学会での学会発表を行うようにしています。学会発表を通じて、文献検索して論文を読むこと、プレゼンテーション能力を高めるなどの研修を行っています。

勤務体制について

初期研修医の当直は月3回程度で、2次救急日を中心とし、翌日は休日とするようにしています。働き方改革に対応して、無理のない研修となるよう努めています。

浜松赤十字病院

所在地 : 静岡県浜松市浜名区小林1088-1

TEL : 053-401-1111

E-MAIL : redcross@hamamatsu.jrc.or.jp



院長 俵原 敬



臨床研修医向け研修会

静岡県では、卒後1・2年目の臨床研修医数が年々増加しており、令和7年度に県内で医師臨床研修を行う方は、500人以上となる見込みです。

増加する臨床研修医の指導と交流を目的に、静岡県が県医師会と協力し、講演会や実践形式での研修を通して臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業に取り組んでいます。

Welcome Seminar in Shizuoka

臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業の一環として、「医師臨床研修指導ガイドライン」に記載されている研修期間内に研修が必要とされる項目について、年3回に分けてセミナーを開催しています。

屋根瓦塾 in Shizuoka

臨床研修医の県内定着促進のため、「屋根瓦塾 in Shizuoka2024」を開催しました。臨床研修医が参加し、先輩医師が実演や講義を通して医療の知識・技術を伝達しました。



静岡県医師バンク

静岡県では、県内の医師確保や医師偏在解消を目的として、一般社団法人静岡県医師会と協力し、県内で働きたい医師への就業支援等を行う医師向け無料職業紹介サイト「静岡県医師バンク」を運営しています。

「静岡県医師バンク」では、県内医療機関の求人情報を掲載しているほか、最新の勤務医関連情報や、研修会情報、キャリア支援情報等、キャリアアップを希望される医師の皆様には役立つ様々な情報を発信しています。

医師の皆様には求職時に御相談いただくことで、医師のアドバイザーによる支援のもと、希望条件に沿った県内の求人医療機関を御紹介します。

求人医療機関・求職者の方にとって納得のいくマッチングとなるよう、きめ細やかな相談対応を行っています。

静岡県医師バンク運営事務局

電話：054-246-6151（一般社団法人静岡県医師会内）

E-mail：dr-bank@jim.shizuoka.med.or.jp

静岡県医師バンク専用サイト

<https://www.shizuoka-doctorbank.jp>



みんなの力を医療のちからに

メディメッセージ2024

静岡県では、県民の皆さんと医療現場で働く医療従事者とが交流するイベント「メディメッセージ」を開催しています。

メディメッセージ2024には、2日間で延べ5,500人が来場し、医師のトークライブや本物の医療技術に触れて学ぶ体験コーナー、医療チームによる最新技術の実演など、将来の地域医療を担う子供たちに、医療の魅力を伝えました。

静岡県は今後も県内の医療機関や関係団体と力を合わせて未来の担い手作りの支援を行います。

主催

メディメッセージ2024実行委員会（一般社団法人静岡県医師会、公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター、協和医科器械株式会社、株式会社アルバース、静岡県）



＼静岡県で働く女性医師のみなさんを応援します／ ふじのくに女性医師支援センター

静岡県では仕事と家庭の両立と自分のキャリアを積んでいきたい医師のお手伝いをするために、「ふじのくに女性医師支援センター」を設置しています。センターでは浜松医大の医師である専任のコーディネーターを配置し、大学各診療科・県内医療機関と連携しながら医師としてキャリアを形成し、地域で活躍できるよう、復職に必要な子育て情報やキャリア形成についての相談・情報提供、県外から転居してくる医師も静岡県の医療機関で活躍できるようサポートを行っています。



ロールモデル講演会

仕事と家庭の両立で苦労したことや乗り越えるコツなど、それぞれの経験を基に講演いただきました。



キャリア形成シンポジウム

「未来をつなぐ指導医の育て方～静岡の魅力あるキャリア支援を考える～」をテーマに講演や座談会を通じて課題や今後の展望など意見交換を行いました。



【お問合せ】 ふじのくに女性医師支援センター（浜松医科大学医学部附属病院 医師トータルサポートセンター内）

☎ 053-435-2380

✉ dr-info@hama-med.ac.jp

ホームページは
こちらから→



SNSも毎週更新中!



Facebook



Instagram

寄附による医師確保支援



静岡県は株式会社ファミリーマート、松岡紙業株式会社（富士市）と医師確保支援に向けた協定を締結し、2019年から静岡県医学修学研修資金貸与事業への継続的な寄附を受けています。2024年3月に、第5回の寄附贈呈式が行われ、知事から感謝状を贈呈いたしました。

ファミリーマート店舗に設置した古紙回収ボックスから回収された古紙の売却益等の一部が両社により静岡県に寄附され、医師確保に活用されます。

紙と医 カミカラドクター

FamilyMart 松岡紙業株式会社

医師をこそろざしてから県内で活躍するまでをサポート

ふじのくに地域医療支援センター

本部(県庁)・支部(東部・中部・西部各保健所)

メールマガジンの配信

県内の研修病院の紹介など、今後の勤務や研修に役立つ本県の医療に関する最新の情報を2ヶ月に3回のペースでお届けしています！

●配信内容

- ・県内で活躍する医師のインタビュー記事
- ・ふじのくに次世代医師リクルーターからのメッセージ
- ・イベントのお知らせ
(夏季セミナー、病院合同説明会、こころざし育成セミナー等)
- ・臨床研修病院紹介ページ
- ・関係団体主催イベント告知(自治医科大学)など

この機会にぜひ御登録ください。
メールマガジン登録フォーム



ふじのくに地域医療支援センター

事務局本部 TEL:054-221-2868 E-mail:chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

バスツアー 病院見学バスツアー

東部・中部・西部の各支部で、春休み・夏休み期間中に、1日で複数の病院を見学できるバスツアーを実施しています。
先輩医師とお話しできるチャンスです！



参加者の声

- 多くの先生方の御意見や病院の雰囲気を知ることができて良かったです。
- 貴重な経験ができ、働くイメージが湧いてきました。

ふじのくに地域医療支援センター 支部連絡先

東部支部事務局 TEL:055-920-2076 E-mail:kftoubu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp
中部支部事務局 TEL:054-644-9273 E-mail:kfchuubu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp
西部支部事務局 TEL:0538-37-2793 E-mail:kfseibu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県ってどんなところ？

本県は、温暖な気候と豊かな自然や、多彩で高品質な農産物、歴史文化など、魅力あふれるものを数多く有しています。ぜひ、「ふじのくに」静岡県でその魅力に触れてください。

おすすめスポット！



【西部】浜松祭り



【中部】久能山東照宮



【東部】三島スカイウォーク



【伊豆】白浜海岸

“ふじのくに”の経済基盤



人口
(R5.10.1)

355万5千人

全国
10位



県内総生産
(R2年度)

17兆1,052億円

全国
10位



製造品出荷額等
(R5.6.1)

19兆291億円

全国
3位

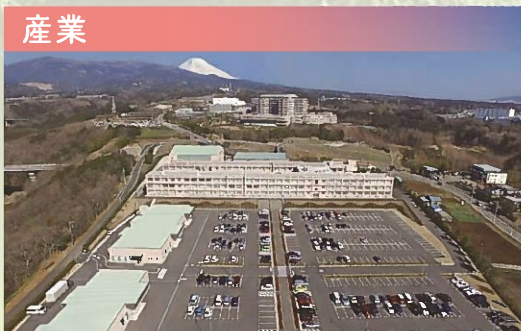


1人当たりの県民所得
(R2年度)

311万円

全国
6位

産業



富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトにより、関連産業の集積が進み、医療機器生産額は13年連続日本一です。

自然



世界文化遺産に登録されている富士山や、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟する駿河湾など、豊かな自然に囲まれています。

文化

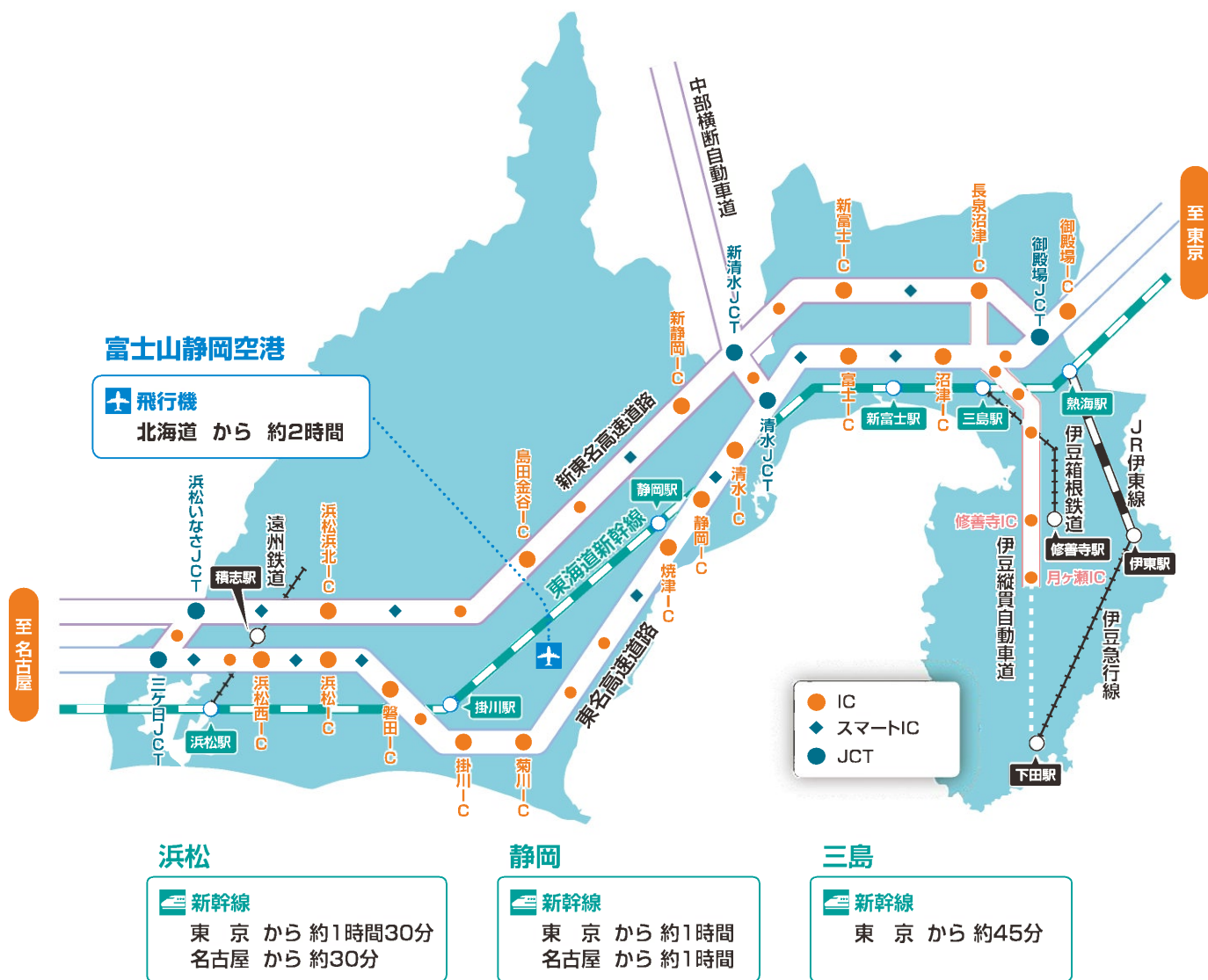


2023年に静岡県は、「東アジア文化都市」に選定され、日本の「文化の顔」、「文化首都」として1年にわたり日本文化の魅力を国内外に発信しました。

特産品



日本一の生産量を誇るお茶をはじめ、温暖な気候の下で数多くの特産品を生産しています。



ふじのくに地域医療支援センター

事務局

所在地：〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
静岡県健康福祉部 地域医療課 内

TEL：054-221-2868
E-MAIL：chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

医師就労等相談窓口

浜松医科大学

所在地：〒431-3192 浜松市中央区半田山1丁目20-1
浜松医科大学医学部附属病院 卒後教育センター内
TEL：053-435-2873
E-MAIL：tiikiiryou@hama-med.ac.jp

静岡社会健康医学大学院大学

所在地：〒420-0881 静岡市葵区北安東4-27-2
静岡社会健康医学大学院大学 医師配置連携室内
TEL：054-295-5419
E-MAIL：vmcfujinokuni@s-sph.ac.jp

スマホからもチェック！

ふじのくに地域医療支援センター



📢 イベント情報などを掲載しています！！

医学修学研修資金の募集情報、
医師のメッセージ、病院合同説明会、
バスツアー など

本冊子はインターネット
からもご覧いただけます。



<https://fujinokuni-doctor.jp>